

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成15年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年(末)比は原指数を、前期(末)比は季節調整済指数を用いて算出しています。

なお、生産・出荷・在庫率指数は12か月を平均した指数、四半期別の指数は3か月を平均した指数であり、在庫指数は年末・期末の指数です。

3 その他

(1) 本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産(指数)」、「出荷(指数)」、「在庫(指数)」、「在庫率(指数)」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「年」とあるものは暦年間(1~12月)を示し、「1」、「2」、「3」は「1~3月期(末)」、「4~6月期(末)」、「7~9月期(末)」、「10~12月期(末)」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「-」・・・該当のないもの 「-」・・・マイナス(比較減)

「X」・・・数値が秘匿されているもの

(2) 業種分類、採用品目数等

巻末の「神奈川県工業生産指数について」を参照してください。

神奈川県工業生産の動向

1 概要 - 生産指数は前年比 1.6%と3年連続して低下 -

(1) 生産の動向

生産指数(原指数)は、88.9で前年比1.6%低下し、3年連続して低下しました。四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比0.0%の横ばい、2期は同5.5%低下、3期は同2.4%上昇、4期も同1.8%上昇しました。

< 全国及び局管内の動き >

全国の製造工業指数(原指数)は、95.0で前年比3.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比0.2%上昇し5期連続して上昇、2期は同0.5%低下、3期は同1.1%上昇、4期も同3.9%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数(原指数)は、91.9で同3.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比1.3%上昇し4期連続して上昇、2期は同1.5%低下、3期は同1.7%上昇、4期も同2.6%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数(原指数)は、92.6で前年比0.1%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比0.1%上昇し3期連続して上昇、2期は同4.7%低下、3期は同1.9%上昇、4期も同0.9%上昇しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数(原指数)は、81.3で前年末比2.4%低下し、6年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期末比4.2%低下し2期ぶりに低下、2期は同1.0%上昇、3期は同4.9%低下、4期は同5.4%上昇しました。

年間の動き

以上のように、生産・出荷指数(季節調整済指数)は、4期を除いて各期とも上昇しました。

また、前年同期比(原指数)では、生産指数は各期とも低下し、出荷指数は4期を除いて各期とも低下しました。

在庫指数(季節調整済指数)は、1期は低下、2期は上昇、3期は低下、4期は上昇しました。

また、前年同期末比(原指数)では、各期とも低下しました。

全国の工業生産は15年の前半は弱含みで推移したものの、後半に持ち直しの動きがみられました。

県内の工業生産は3年連続して低下し、情報通信機械工業などの低下により、前年に続き年間を通して低水準で推移しました。

(P2図1・表1、P5表3、P6表4参照)

(指数)

図1 製造工業指数の四半期別推移

(平成12年 = 100 季節調整済指数)

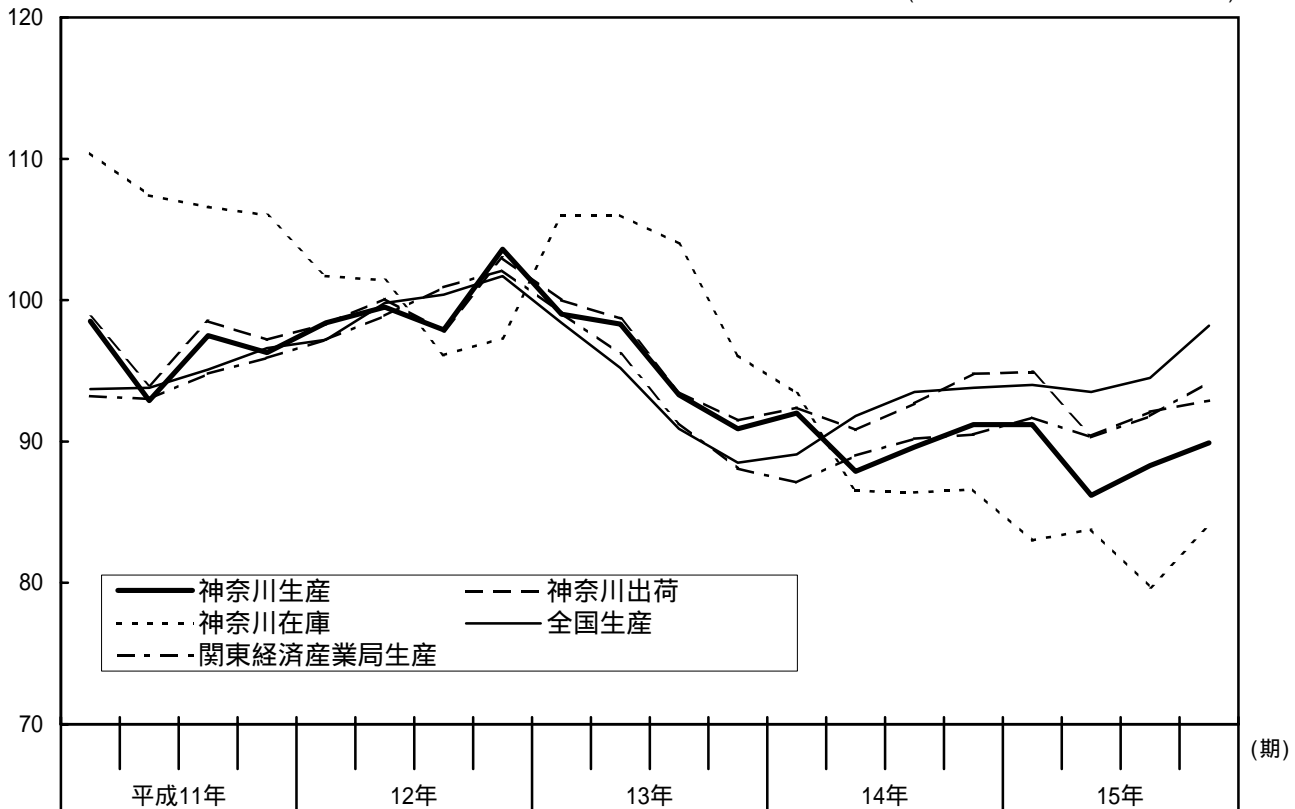


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成12年 = 100)

		11年	12年	13年	14年	15年	15年			
神奈川県 生産	指数	96.3	100.0	95.3	90.3	88.9	91.2	86.2	88.3	89.9
	対前年(期) 増減率%	4.9	3.8	4.7	5.2	1.6	0.0	5.5	2.4	1.8
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	0.3	2.4	2.2	1.1
出荷	指数	97.0	100.0	95.9	92.7	92.6	94.9	90.4	92.1	92.9
	対前年(期) 増減率%	4.2	3.1	4.1	3.3	0.1	0.1	4.7	1.9	0.9
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	2.6	0.1	7.5	3.4
在庫	指数	104.3	94.7	92.8	83.3	81.3	83.0	83.8	79.7	84.0
	対前年(期) 増減率%	11.2	9.2	2.0	10.2	2.4	4.2	1.0	4.9	5.4
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	11.0	2.8	8.3	2.4
全国 生産	指数	94.6	100.0	93.2	92.0	95.0	94.0	93.5	94.5	98.2
	対前年(期) 増減率%	0.2	5.7	6.8	1.3	3.3	0.2	0.5	1.1	3.9
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	5.5	2.2	1.0	4.1
関東経済産業 局管内 生産	指数	93.9	100.0	93.6	89.2	91.9	91.7	90.3	91.8	94.2
	対前年(期) 増減率%	0.6	6.5	6.4	4.7	3.0	1.3	1.5	1.7	2.6
	対前年同期 増減率%	-	-	-	-	-	5.5	1.9	1.3	3.4

* 年指数(比)・前年同期比は原指数、四半期指数は季節調整済指数

関東経済産業局管内: 栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

< 生産 >

業種別にみると、固定通信装置やデジタル伝送装置などが減少した情報通信機械工業（前年比11.6%低下）や、ウイスキーなどが減少した食料品・飲料工業（同7.7%低下）など10業種が低下しました。

また、はん用内燃機関などが増加した一般機械工業（前年比4.4%上昇）など7業種が上昇しました。

< 出荷 >

業種別にみると、デジタル伝送装置や固定通信装置などが減少した情報通信機械工業（前年比8.5%低下）や、ウイスキーなどが減少した食料品・飲料工業（同3.7%低下）など9業種が低下しました。

また、はん用内燃機関などが増加した一般機械工業（前年比7.1%上昇）など9業種が上昇しました。

< 在庫 >

業種別にみると、モス型半導体集積回路（論理素子）やモス型半導体集積回路（記憶素子）などが減少した電子部品・デバイス工業（前年末比36.0%低下）や、装軌式トラクタなどが減少した一般機械工業（同6.7%低下）など12業種が低下しました。

また、ガソリンなどが増加した石油・石炭製品工業（前年末比51.0%上昇）など6業種が上昇しました。

（P3図2、P4表2、P5表3参照）

図2 生産指数増減率に対する業種別寄与度の推移

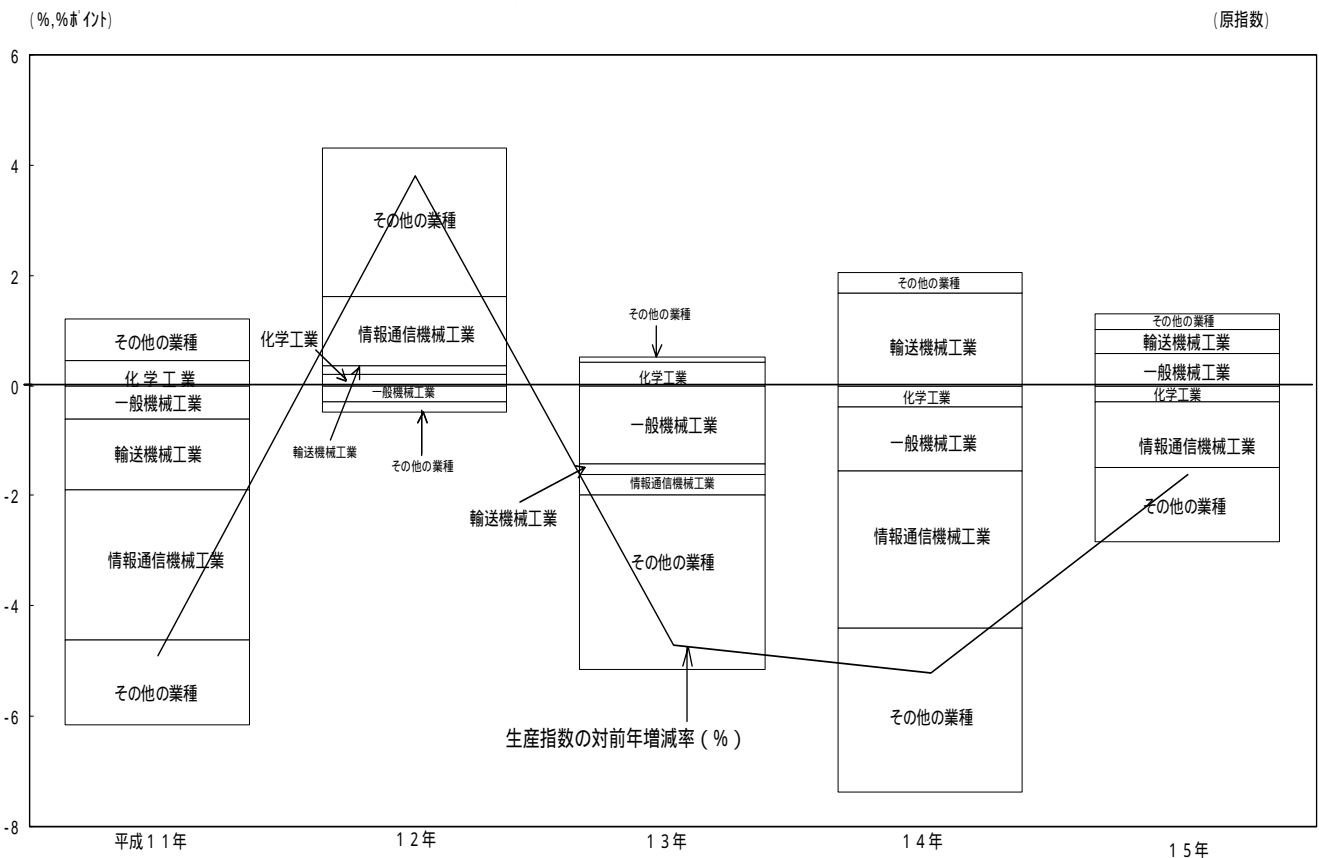


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 88.9 対前年増減率 1.6% 上昇7業種、低下10業種、横ばい1業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	一般機械工業	4.4	0.58	増	はん用内燃機関、印刷機械、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など
				減	プレス用金型、半導体製造装置など
上昇	輸送機械工業	2.5	0.43	増	普通トラック、小型乗用車、小型トラックなど
				減	普通乗用車、小型バスなど
低下	情報通信機械工業	11.6	1.20	増	無線応用装置、はん用コンピュータなど
				減	固定通信装置、デジタル伝送装置、変復調装置など
低下	食料品・飲料工業	7.7	0.83	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、炭酸飲料など
				減	ウイスキー、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、チョコレートなど
低下	化学工業	1.7	0.30	増	合成ゴム、酸化エチレンなど
				減	合成洗剤、化粧品、カラーロールフィルムなど
低下	電気機械工業	2.5	0.13	増	自動車用白熱灯器具、産業用テレビ装置など
				減	シールドビーム形電球、電気冷蔵庫、電気測定器など
低下	窯業・土石製品工業	4.5	0.12	増	ガラス短繊維製品、板ガラスなど
				減	生コンクリート、ガラス製容器類、炭素製品など

(2) 出荷 年指数 92.6 対前年増減率 0.1% 上昇9業種、低下9業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	一般機械工業	7.1	0.82	増	はん用内燃機関、軸受、油圧機器など
				減	プレス用金型、半導体製造装置など
上昇	石油・石炭製品工業	4.3	0.30	増	ガソリン、C重油、灯油など
				減	軽油、ジェット燃料油など
上昇	輸送機械工業	1.2	0.30	増	小型乗用車、普通トラック、乗用車ボデーなど
				減	普通乗用車、小型バスなど
低下	情報通信機械工業	8.5	0.77	増	はん用コンピュータ、無線応用装置など
				減	デジタル伝送装置、固定通信装置、変復調装置など
低下	食料品・飲料工業	3.7	0.37	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、小麦粉など
				減	ウイスキー、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、グルタミン酸ソーダなど
低下	化学工業	1.7	0.20	増	合成ゴム、ポリプロピレンなど
				減	合成洗剤、化粧品、カラーロールフィルムなど
低下	電子部品・デバイス工業	4.0	0.18	増	トランジスタ、光電変換素子など
				減	モス型半導体集積回路(記憶素子)、モス型半導体集積回路(論理素子)、コネクタなど

(3) 在庫 年指数 81.3 対前年末増減率 2.4% 上昇6業種、低下12業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	石油・石炭製品工業	51.0	1.77	増	ガソリン、C重油、軽油など
				減	コークス、液化石油ガス
上昇	情報通信機械工業	11.7	1.28	増	ビデオカメラ、ビデオテープレコーダなど
				減	拡声装置
上昇	輸送機械工業	10.5	0.97	増	普通トラック、けん引車、大型バスなど
				減	小型乗用車、普通乗用車
低下	電子部品・デバイス工業	36.0	1.57	増	トランジスタ、混成集積回路など
				減	モス型半導体集積回路(論理素子)、モス型半導体集積回路(記憶素子)、線形半導体集積回路など
低下	一般機械工業	6.7	1.16	増	はん用内燃機関、タイムレコーダなど
				減	装軌式トラクタ、掘さく機械、鉄鋼用ロールなど
低下	精密機械工業	68.4	1.11	増	工業用長さ計
				減	工業用計重機、分析機器など
低下	化学工業	0.8	0.13	増	カラー映画用フィルム、キシレンなど
				減	白黒フィルム、ポリエチレン、白黒印画紙など

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成12年 = 100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		1 2 年	1 3 年	1 4 年	1 5 年	1 2 年	1 3 年	1 4 年	1 5 年	1 2 年	1 3 年	1 4 年	1 5 年	1 2 年	1 3 年	1 4 年	1 5 年
製 造 工 業	指 数	100.0	95.3	90.3	88.9	100.0	95.9	92.7	92.6	94.7	92.8	83.3	81.3	100.0	116.2	101.3	93.3
	対前年増減率%	3.8	4.7	5.2	1.6	3.1	4.1	3.3	0.1	9.2	2.0	10.2	2.4	13.3	16.2	12.8	7.9
鉄 鋼 業	指 数	100.0	99.6	99.5	99.5	100.0	102.3	102.0	103.1	98.9	100.5	87.6	89.9	100.0	101.3	93.8	92.7
	対前年増減率%	12.9	0.4	0.1	0.0	17.2	2.3	0.3	1.1	3.8	1.6	12.8	2.6	20.0	1.3	7.4	1.2
非鉄金属 工 業	指 数	100.0	102.6	79.4	77.1	100.0	96.7	75.0	73.1	95.9	83.1	61.9	62.7	100.0	117.0	98.5	83.4
	対前年増減率%	38.7	2.6	22.6	2.9	23.2	3.3	22.4	2.5	13.4	13.3	25.5	1.3	7.1	17.0	15.8	15.3
金属製品 工 業	指 数	100.0	88.9	74.9	73.1	100.0	76.4	67.4	70.6	68.5	66.3	54.5	49.6	100.0	81.3	72.3	58.2
	対前年増減率%	1.1	11.1	15.7	2.4	5.4	23.6	11.8	4.7	30.9	3.2	17.8	9.0	4.4	18.7	11.1	19.5
一般機械 工 業	指 数	100.0	90.2	82.6	86.2	100.0	92.6	81.4	87.2	100.4	95.7	91.9	85.7	100.0	119.1	108.1	95.7
	対前年増減率%	1.9	9.8	8.4	4.4	1.6	7.4	12.1	7.1	11.4	4.7	4.0	6.7	21.3	19.1	9.2	11.5
電気機械 工 業	指 数	100.0	98.1	84.7	82.6	100.0	96.2	82.4	80.5	89.0	89.8	86.9	77.6	100.0	111.0	104.9	105.5
	対前年増減率%	2.7	1.9	13.7	2.5	0.6	3.8	14.3	2.3	9.5	0.9	3.2	10.7	3.7	11.0	5.5	0.6
情報通信 機械工業	指 数	100.0	97.1	75.2	66.5	100.0	95.0	71.4	65.3	100.3	98.7	102.3	114.3	100.0	159.3	125.3	139.0
	対前年増減率%	10.7	2.9	22.6	11.6	13.4	5.0	24.8	8.5	5.8	1.6	3.6	11.7	21.6	59.3	21.3	10.9
電子部品・ デバイス工業	指 数	100.0	73.3	65.3	64.5	100.0	73.1	80.7	77.5	72.1	59.9	36.7	23.5	100.0	117.2	62.2	33.1
	対前年増減率%	17.6	26.7	10.9	1.2	16.3	26.9	10.4	4.0	29.3	16.9	38.7	36.0	16.2	17.2	46.9	46.8
輸送機械 工 業	指 数	100.0	98.6	109.6	112.3	100.0	103.3	118.7	120.1	114.8	87.5	74.3	82.1	100.0	102.1	74.2	61.7
	対前年増減率%	0.9	1.4	11.2	2.5	1.5	3.3	14.9	1.2	18.0	23.8	15.1	10.5	31.0	2.1	27.3	16.8
精密機械 工 業	指 数	100.0	96.9	101.7	107.1	100.0	101.2	115.2	116.5	117.4	124.5	83.1	26.3	100.0	122.4	88.1	34.3
	対前年増減率%	13.9	3.1	5.0	5.3	3.6	1.2	13.8	1.1	26.2	6.0	33.3	68.4	0.3	22.4	28.0	61.1
窯業・土石 製品工業	指 数	100.0	93.6	91.9	87.8	100.0	97.5	93.9	87.9	100.1	91.4	75.1	72.6	100.0	107.0	85.8	83.8
	対前年増減率%	2.9	6.4	1.8	4.5	2.8	2.5	3.7	6.4	2.5	8.7	17.8	3.3	2.7	7.0	19.8	2.3
化学工業	指 数	100.0	102.7	100.4	98.7	100.0	101.2	99.8	98.1	91.5	110.1	101.7	100.9	100.0	118.7	123.0	119.7
	対前年増減率%	1.3	2.7	2.2	1.7	1.5	1.2	1.4	1.7	2.9	20.3	7.6	0.8	2.1	18.7	3.6	2.7
石油・石炭 製品工業	指 数	100.0	102.2	99.4	105.2	100.0	93.9	85.5	89.2	94.0	85.8	84.5	127.6	100.0	101.5	111.8	128.5
	対前年増減率%	3.9	2.2	2.7	5.8	3.7	6.1	8.9	4.3	9.7	8.7	1.5	51.0	2.3	1.5	10.1	14.9
プラスチック 製品工業	指 数	100.0	93.9	91.8	92.6	100.0	95.8	94.7	95.3	103.1	99.0	87.8	84.8	100.0	108.0	98.6	93.8
	対前年増減率%	1.0	6.1	2.2	0.9	2.1	4.2	1.1	0.6	0.6	4.0	11.3	3.4	3.9	8.0	8.7	4.9
紙・紙加工品 工 業	指 数	100.0	92.2	88.2	87.7	100.0	94.4	86.2	85.8	105.5	82.8	76.1	53.4	100.0	115.2	116.9	88.9
	対前年増減率%	1.8	7.8	4.3	0.6	0.9	5.6	8.7	0.5	48.4	21.5	8.1	29.8	16.6	15.2	1.5	24.0
繊維工業	指 数	100.0	99.1	79.7	76.6	100.0	97.7	79.6	70.0	98.6	104.5	58.2	122.8	100.0	85.3	103.6	156.3
	対前年増減率%	6.9	0.9	19.6	3.9	5.7	2.3	18.5	12.1	10.4	6.0	44.3	111.0	4.9	14.7	21.5	50.9
食料品・ 飲料工業	指 数	100.0	99.0	102.1	94.2	100.0	98.6	101.4	97.6	85.7	107.4	99.4	86.0	100.0	119.2	125.4	108.5
	対前年増減率%	4.0	1.0	3.1	7.7	3.0	1.4	2.8	3.7	6.5	25.3	7.4	13.5	8.3	19.2	5.2	13.5
その他工業	指 数	100.0	96.7	91.4	97.0	100.0	96.3	93.4	99.1	99.1	103.9	100.7	83.0	100.0	115.0	112.2	95.6
	対前年増減率%	1.2	3.3	5.5	6.1	0.1	3.7	3.0	6.1	1.2	4.8	3.1	17.6	0.9	15.0	2.4	14.8
ゴム製品 工 業	指 数	100.0	100.7	98.8	103.7	100.0	98.3	100.1	104.3	92.8	123.6	114.8	97.9	100.0	120.6	122.2	107.2
	対前年増減率%	1.4	0.7	1.9	5.0	1.4	1.7	1.8	4.2	0.4	33.2	7.1	14.7	4.2	20.6	1.3	12.3
家具工業	指 数	100.0	88.5	76.0	83.2	100.0	91.3	76.4	85.7	107.5	78.0	82.1	63.4	100.0	107.7	99.2	80.4
	対前年増減率%	0.7	11.5	14.1	9.5	2.9	8.7	16.3	12.2	2.2	27.4	5.3	22.8	6.9	7.7	7.9	19.0
公 益 事 業	指 数	100.0	100.2	102.3	124.2	100.0	100.1	100.2	102.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	0.2	0.2	2.1	21.4	2.6	0.1	0.1	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	100.0	92.7	86.5	86.0	100.0	95.5	92.8	92.8	96.6	88.2	79.4	75.5	100.0	120.8	95.3	85.1
	対前年増減率%	4.6	7.3	6.7	0.6	4.2	4.5	2.8	0.0	12.3	8.7	10.0	4.9	19.5	20.8	21.1	10.7

* 生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

* 公益事業、機械工業は参考系列(P85 業種分類参照)

表 4

平成15年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成12年=100 季節調整済指数)

業種	項目	生産				出荷				在庫				在庫率			
製造工業	指数	91.2	86.2	88.3	89.9	94.9	90.4	92.1	92.9	83.0	83.8	79.7	84.0	96.3	93.3	91.1	92.4
	対前期増減率%	0.0	5.5	2.4	1.8	0.1	4.7	1.9	0.9	4.2	1.0	4.9	5.4	3.5	3.1	2.4	1.4
鉄鋼業	指数	98.2	103.1	97.7	98.9	104.2	107.7	100.4	100.1	86.7	92.4	93.4	92.9	86.7	87.5	98.3	98.4
	対前期増減率%	1.1	5.0	5.2	1.2	2.4	3.4	6.8	0.3	5.3	6.6	1.1	0.5	9.6	0.9	12.3	0.1
非鉄金属工業	指数	96.7	64.4	76.4	71.8	86.3	64.5	71.0	71.8	58.4	60.3	62.3	62.0	82.0	82.1	87.7	82.4
	対前期増減率%	9.3	33.4	18.6	6.0	9.0	25.3	10.1	1.1	3.8	3.3	3.3	0.5	4.4	0.1	6.8	6.0
金属製品工業	指数	74.3	71.9	74.5	75.4	68.9	71.7	70.5	72.6	48.5	50.4	49.1	52.4	63.4	57.2	54.1	58.0
	対前期増減率%	5.9	3.2	3.6	1.2	2.3	4.1	1.7	3.0	17.0	3.9	2.6	6.7	7.8	9.8	5.4	7.2
一般機械工業	指数	83.7	83.8	87.3	89.1	82.9	84.5	89.7	91.2	92.4	85.8	83.6	83.1	114.4	100.1	95.7	76.1
	対前期増減率%	6.4	0.1	4.2	2.1	5.6	1.9	6.2	1.7	3.5	7.1	2.6	0.6	1.6	12.5	4.4	20.5
電気機械工業	指数	81.2	79.8	81.5	87.7	80.0	77.8	79.5	85.0	76.9	79.9	80.8	80.4	115.8	101.8	99.3	104.9
	対前期増減率%	11.5	1.7	2.1	7.6	9.8	2.8	2.2	6.9	16.1	3.9	1.1	0.5	1.8	12.1	2.5	5.6
情報通信機械工業	指数	77.0	58.7	54.3	69.6	72.5	60.0	56.1	69.9	110.1	119.5	86.3	140.6	118.0	143.0	134.7	160.7
	対前期増減率%	1.5	23.8	7.5	28.2	2.3	17.2	6.5	24.6	11.6	8.5	27.8	62.9	17.6	21.2	5.8	19.3
電子部品・デバイス工業	指数	61.2	60.4	63.5	73.0	76.3	73.9	77.1	83.1	29.4	24.6	25.0	24.4	37.7	34.7	30.0	30.3
	対前期増減率%	5.0	1.3	5.1	15.0	5.1	3.1	4.3	7.8	25.9	16.3	1.6	2.4	22.3	8.0	13.5	1.0
輸送機械工業	指数	114.6	110.3	113.5	110.9	124.7	117.4	121.7	116.4	63.9	79.5	71.4	73.4	65.3	65.8	59.4	58.0
	対前期増減率%	1.6	3.8	2.9	2.3	4.1	5.9	3.7	4.4	1.4	24.4	10.2	2.8	0.9	0.8	9.7	2.4
精密機械工業	指数	129.8	104.5	97.8	98.5	131.9	117.0	109.9	110.2	58.3	30.2	24.1	24.3	51.0	33.9	28.1	24.1
	対前期増減率%	17.6	19.5	6.4	0.7	1.9	11.3	6.1	0.3	27.7	48.2	20.2	0.8	21.9	33.5	17.1	14.2
窯業・土石製品工業	指数	90.8	88.5	88.4	84.0	91.4	90.0	88.2	82.5	78.5	73.9	70.4	73.0	87.6	84.7	79.8	83.3
	対前期増減率%	3.1	2.5	0.1	5.0	4.4	1.5	2.0	6.5	5.5	5.9	4.7	3.7	9.0	3.3	5.8	4.4
化学工業	指数	104.5	95.4	99.3	96.0	101.2	96.0	99.0	96.7	115.9	106.8	107.2	106.9	122.3	120.2	119.9	116.4
	対前期増減率%	4.0	8.7	4.1	3.3	1.4	5.1	3.1	2.3	7.8	7.9	0.4	0.3	0.7	1.7	0.2	2.9
石油・石炭製品工業	指数	104.7	114.1	99.8	103.0	90.2	94.7	86.1	86.2	106.0	118.3	117.5	140.3	111.8	116.2	137.7	151.9
	対前期増減率%	2.0	9.0	12.5	3.2	0.2	5.0	9.1	0.1	21.3	11.6	0.7	19.4	18.2	3.9	18.5	10.3
プラスチック製品工業	指数	90.4	93.3	97.0	90.0	93.7	95.9	97.6	94.2	84.7	85.6	94.6	84.6	93.6	90.2	95.2	97.0
	対前期増減率%	1.0	3.2	4.0	7.2	1.7	2.3	1.8	3.5	3.3	1.1	10.5	10.6	1.2	3.6	5.5	1.9
紙・紙加工工業	指数	88.9	90.7	87.1	84.7	86.3	92.0	84.6	82.0	81.8	70.3	72.9	66.1	105.6	77.8	85.4	88.3
	対前期増減率%	3.3	2.0	4.0	2.8	17.1	6.6	8.0	3.1	9.0	14.1	3.7	9.3	18.4	26.3	9.8	3.4
繊維工業	指数	72.0	82.2	83.2	69.3	73.4	78.4	76.9	51.4	48.1	50.7	59.4	114.0	66.6	56.2	63.5	440.5
	対前期増減率%	1.4	14.2	1.2	16.7	2.8	6.8	1.9	33.2	11.7	5.4	17.2	91.9	16.2	15.6	13.0	593.7
食料品・飲料工業	指数	92.8	93.1	95.1	96.4	96.9	96.4	97.9	100.0	104.2	103.2	102.3	100.1	108.9	109.5	107.1	109.2
	対前期増減率%	1.9	0.3	2.1	1.4	4.2	0.5	1.6	2.1	6.8	1.0	0.9	2.2	16.2	0.6	2.2	2.0
その他工業	指数	94.9	99.0	98.0	96.3	98.0	99.8	100.3	98.0	95.6	85.9	88.0	84.9	107.5	90.1	93.1	91.9
	対前期増減率%	2.5	4.3	1.0	1.7	1.4	1.8	0.5	2.3	10.6	10.1	2.4	3.5	2.8	16.2	3.3	1.3
ゴム製品工業	指数	103.6	102.6	105.5	103.0	104.7	101.9	105.9	104.5	114.4	111.2	108.2	101.9	116.4	110.9	103.4	98.2
	対前期増減率%	2.1	1.0	2.8	2.4	1.3	2.7	3.9	1.3	4.3	2.8	2.7	5.8	6.2	4.7	6.8	5.0
家具工業	指数	76.5	89.6	87.5	82.1	82.5	92.7	86.5	81.2	68.9	53.2	61.9	63.9	93.8	61.7	80.9	85.6
	対前期増減率%	4.5	17.1	2.3	6.2	8.6	12.4	6.7	6.1	19.6	22.8	16.4	3.2	17.1	34.2	31.1	5.8
公益事業	指数	127.3	137.3	113.0	122.6	105.1	103.6	98.9	101.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	11.0	7.9	17.7	8.5	2.6	1.4	4.5	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-
機械工業	指数	88.1	82.1	84.2	89.0	95.7	89.4	92.0	94.3	76.2	77.2	68.8	76.7	90.6	88.3	81.6	79.3
	対前期増減率%	1.2	6.8	2.6	5.7	1.6	6.6	2.9	2.5	6.3	1.3	10.9	11.5	4.9	2.5	7.6	2.8

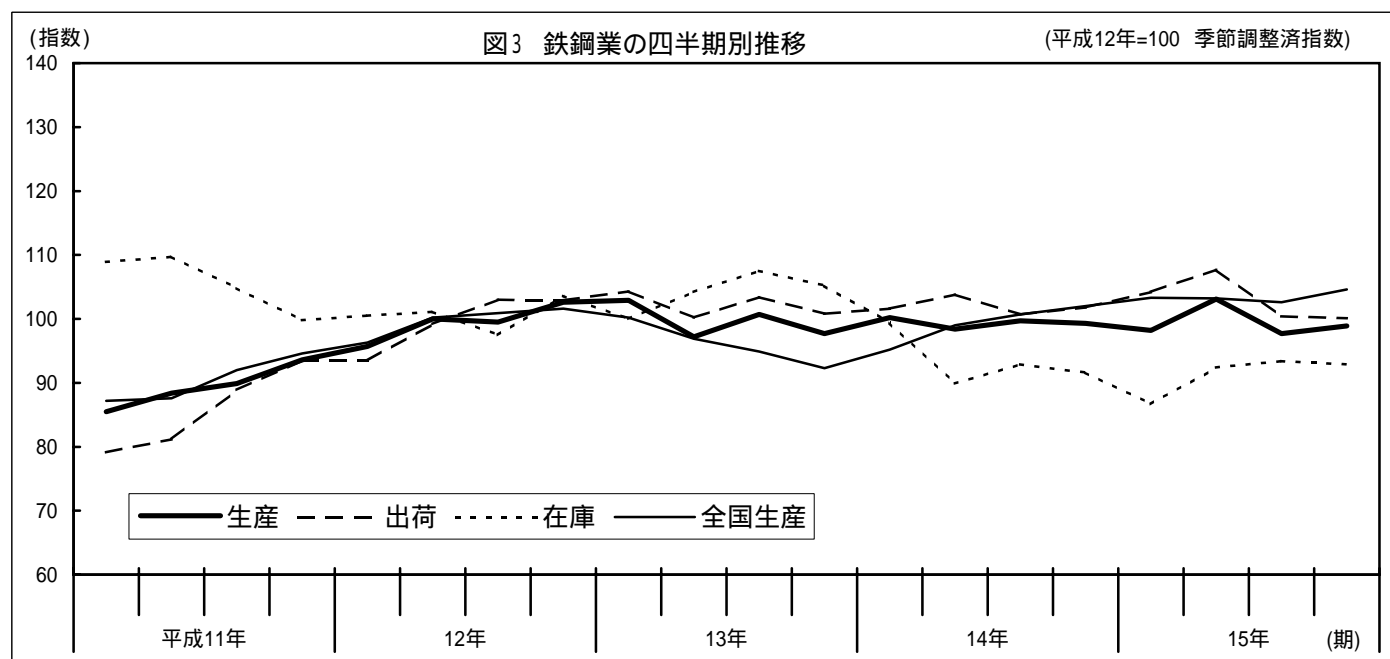
*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P85 業種分類参照)

2 業種別の動向

(1) 主要業種の動向

<鉄鋼業> - 生産は横ばい、出荷は2年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、99.5で前年比0.0%で、横ばいとなりました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比1.1%低下、期は同5.0%上昇、期は同5.2%低下、期は同1.2%上昇しました。

品目別にみると、普通鋼鋼板や鉄系鍛工品などが増加し、普通鋼鋼帯などが減少しました。

また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、103.3で前年比4.1%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、103.1で前年比1.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比2.4%上昇、期も同3.4%上昇、期は同6.8%低下、期も同0.3%低下しました。

品目別にみると、めっき鋼材や普通鋼鋼板などが増加し、普通鋼鋼帯などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、89.9で前年末比2.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期末比5.3%低下、期は同6.6%上昇、期も同1.1%上昇、期は同0.5%低下しました。

品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼帯などが増加し、特殊鋼冷間仕上鋼材などが減少しました。

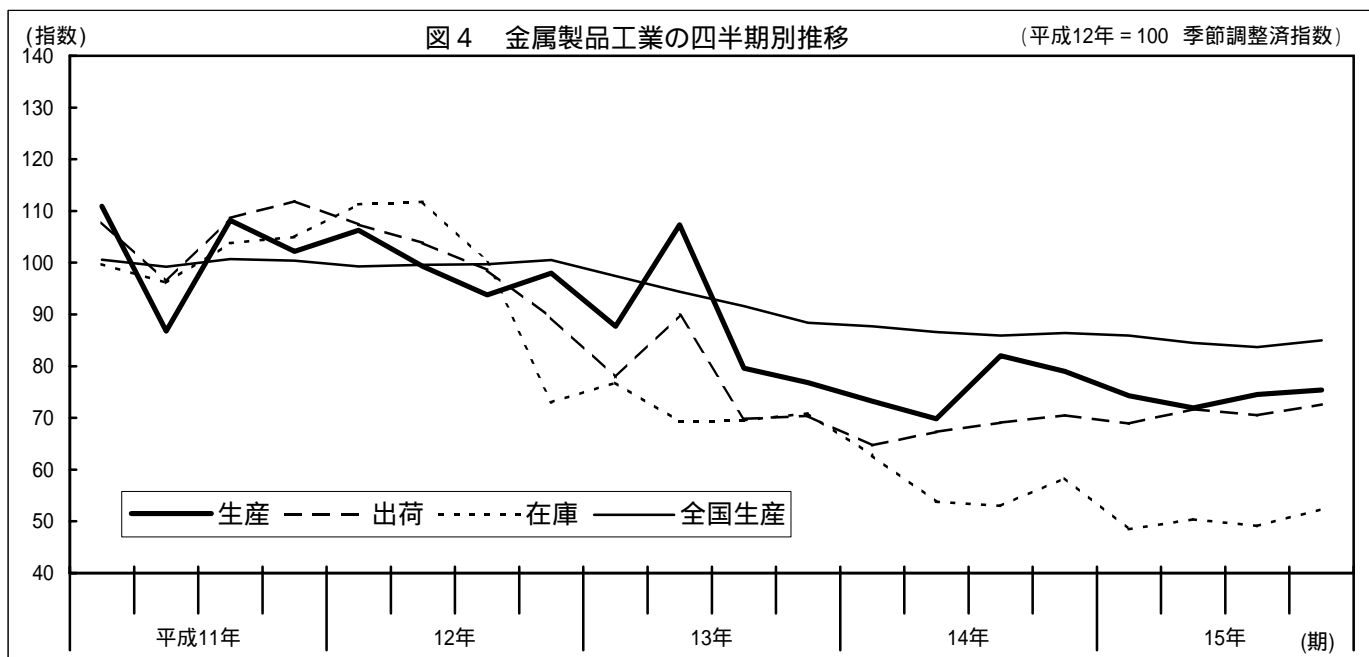
表 5 鉄鋼業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		14年		15年				上昇又は低下に寄与した品目						
		指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%		指数	対前年(期)増減率%				
生産	指数	99.5	0.1	99.5	0.0	98.2	1.1	103.1	5.0	97.7	5.2	98.9	1.2	増 普通鋼鋼板、鉄系鍛工品、めっき鋼材など 減 普通鋼鋼帯、普通鋼鋼管など
	対前年(期)増減率%	0.1	0.0	1.1	5.0	5.2	1.2							
出荷	指数	102.0	0.3	103.1	1.1	104.2	2.4	107.7	3.4	100.4	6.8	100.1	0.3	増 めっき鋼材、普通鋼鋼板、鉄系鍛工品など 減 普通鋼鋼帯、普通鋼鋼管など
	対前年(期)増減率%	0.3	1.1	2.4	3.4	6.8	0.3							
在庫	指数	87.6	12.8	89.9	2.6	86.7	5.3	92.4	6.6	93.4	1.1	92.9	0.5	増 鋼半製品、普通鋼鋼帯など 減 特殊鋼冷間仕上鋼材など
	対前年(期)増減率%	12.8	2.6	5.3	6.6	1.1	0.5							

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 金属製品工業 > - 生産は6年連続の低下、出荷は6年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、73.1で前年比2.4%低下し、8年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比5.9%低下、期も同3.2%低下、期は同3.6%上昇、期も同1.2%上昇しました。
 品目別にみると、橋りょうやスチール・ステンレス製建具などが減少し、ガス機器などが増加しました。
 また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、84.6で前年比2.4%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、70.6で前年比4.7%上昇し、6年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比2.3%低下、期は同4.1%上昇、期は同1.7%低下、期は同3.0%上昇しました。
 品目別にみると、食缶やガス機器などが増加し、橋りょうなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、49.6で前年末比9.0%低下し、7年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期末比17.0%低下、期は同3.9%上昇、期は同2.6%低下、期は同6.7%上昇しました。
 品目別にみると、飲料用アルミ缶や石油機器などが減少し、超硬チップなどが増加しました。

表6 金属製品工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

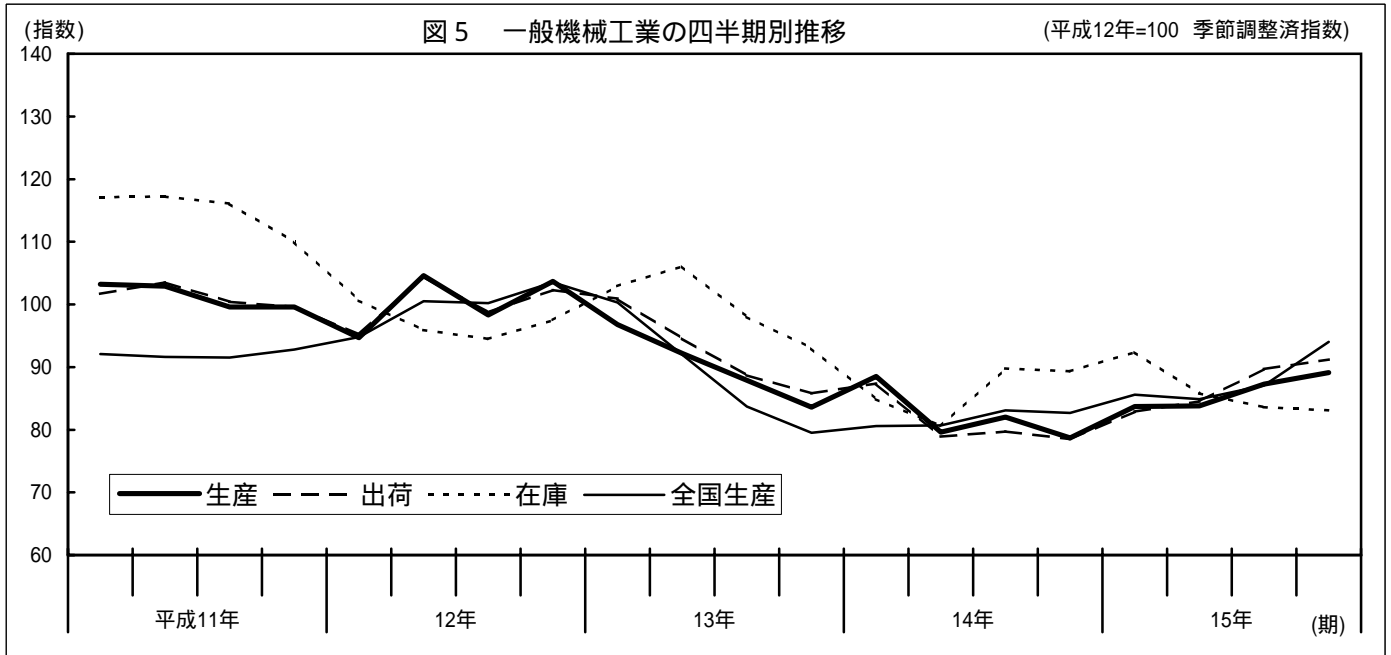
		14年		15年									
		指数	増減率%	指数	増減率%	指数	増減率%	指数					
生産	指数	74.9	15.7	73.1	2.4	74.3	5.9	71.9	3.2	74.5	3.6	75.4	1.2
	対前年(期)増減率%												
出荷	指数	67.4	11.8	70.6	4.7	68.9	2.3	71.7	4.1	70.5	1.7	72.6	3.0
	対前年(期)増減率%												
在庫	指数	54.5	17.8	49.6	9.0	48.5	17.0	50.4	3.9	49.1	2.6	52.4	6.7
	対前年(期)増減率%												

上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	ガス機器、ドラム缶、飲料用アルミ缶など
	減	橋りょう、スチール・ステンレス製建具など
出荷	増	食缶、ガス機器、超硬チップなど
	減	橋りょう、飲料用アルミ缶、スチール・ステンレス製建具など
在庫	増	超硬チップ、食缶など
	減	飲料用アルミ缶、石油機器、ガス機器など

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

<一般機械工業> - 生産、出荷とも6年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、86.2で前年比4.4%上昇し、6年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、はん用内燃機関や印刷機械などが増加し、プレス用金型などが減少しました。
 また、全国の一般機械工業の生産指数(同)は、87.8で前年比7.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、87.2で前年比7.1%上昇し、6年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、はん用内燃機関や軸受などが増加し、プレス用金型などが減少しました。

<在庫>

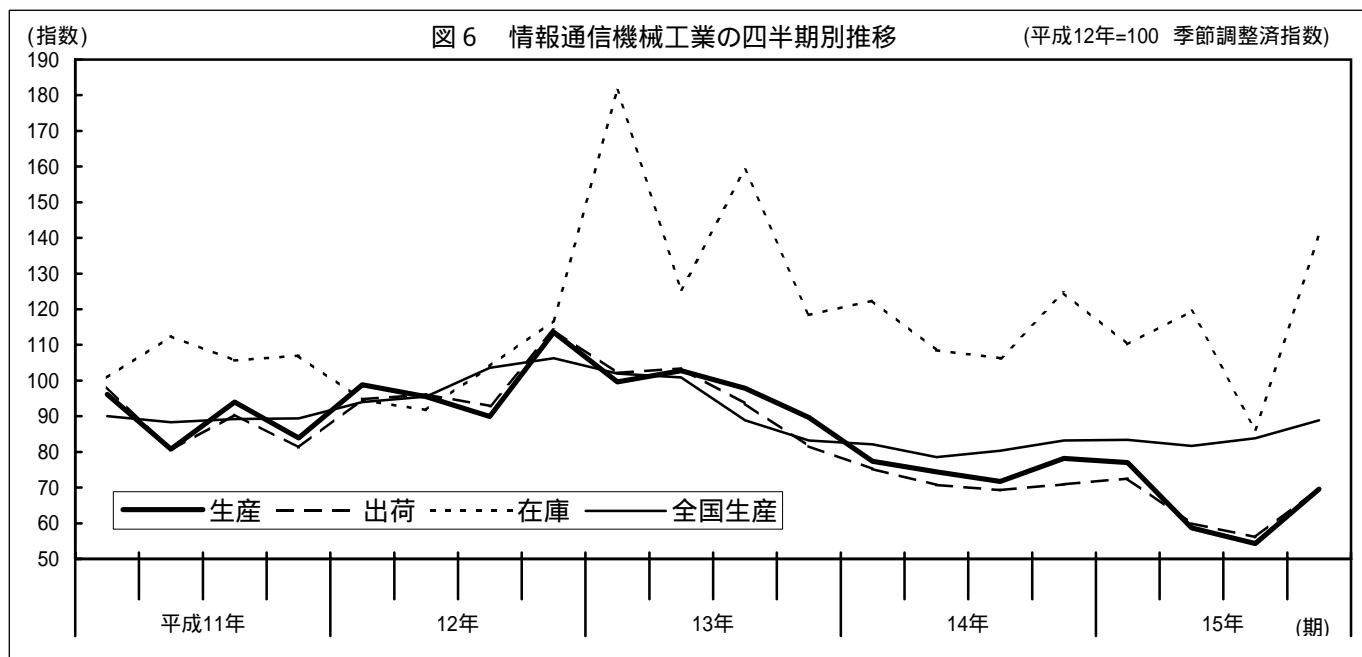
在庫指数(原指数)は、85.7で前年末比6.7%低下し、4年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期末比で低下しました。
 品目別にみると、装軌式トラクタや掘さく機械などが減少し、はん用内燃機関などが増加しました。

表7 一般機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		14年						15年						上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	増	減		
生産	指数	82.6	8.4	86.2	4.4	83.7	6.4	83.8	0.1	87.3	4.2	89.1	2.1	はん用内燃機関、印刷機械、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など プレス用金型、半導体製造装置、鉄鋼用ロールなど	
	対前年(期)増減率%	8.4	4.4	6.4	0.1	4.2	2.1	はん用内燃機関、軸受、油圧機器など プレス用金型、半導体製造装置、金銭登録機など							
出荷	指数	81.4	12.1	87.2	7.1	82.9	5.6		84.5	1.9	89.7	6.2	91.2	1.7	はん用内燃機関、タイムレコーダ、超硬工具など 装軌式トラクタ、掘さく機械、鉄鋼用ロールなど
	対前年(期)増減率%	12.1	7.1	5.6	1.9	6.2	1.7								
在庫	指数	91.9	4.0	85.7	6.7	92.4	3.5	85.8	7.1	83.6	2.6	83.1	0.6		
	対前年(期)増減率%	4.0	6.7	3.5	7.1	2.6	0.6								

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数
 *品目順は寄与度順に列記

< 情報通信機械工業 > - 生産、出荷とも3年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、66.5で前年比11.6%低下し、3年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、固定通信装置やデジタル伝送装置などが減少し、無線応用装置などが増加しました。
 また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、84.4で前年比4.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、65.3で前年比8.5%低下し、3年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期は前期比2.3%上昇、 期は同17.2%低下、 期も同6.5%低下、
 期は同24.6%上昇しました。
 品目別にみると、デジタル伝送装置や固定通信装置などが減少し、はん用コンピュータなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、114.3で前年末比11.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期は前期末比11.6%低下、 期は同8.5%上昇、 期は同27.8%
 低下、 期は同62.9%上昇しました。
 品目別にみると、ビデオカメラやビデオテープレコーダなどが増加し、拡声装置が減少しました。

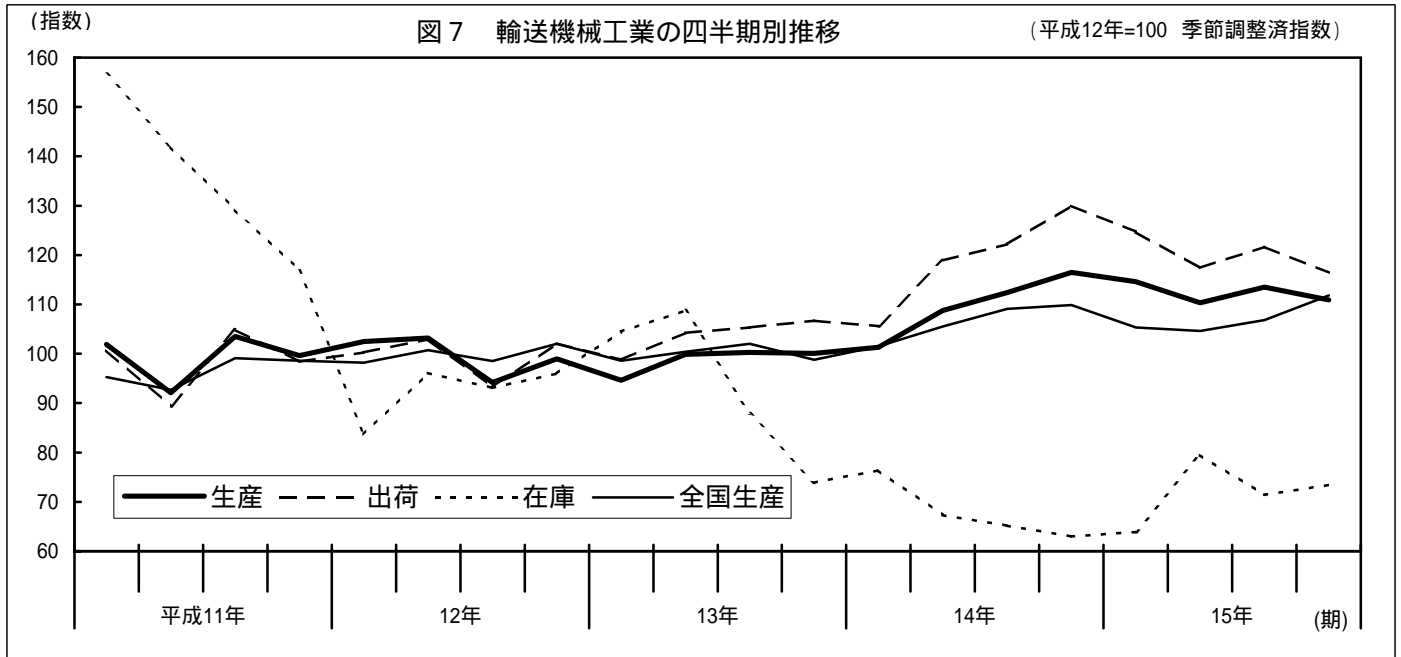
表8 情報通信機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		14年		15年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%		
生産	指数	75.2	66.5	77.0	58.7	54.3	69.6	増 無線応用装置、はん用コンピュータ、基地局通信装置など 減 固定通信装置、デジタル伝送装置、変復調装置など	
	対前年(期)増減率%	22.6	11.6	1.5	23.8	7.5	28.2		
出荷	指数	71.4	65.3	72.5	60.0	56.1	69.9	増 はん用コンピュータ、無線応用装置、基地局通信装置など 減 デジタル伝送装置、固定通信装置、変復調装置など	
	対前年(期)増減率%	24.8	8.5	2.3	17.2	6.5	24.6		
在庫	指数	102.3	114.3	110.1	119.5	86.3	140.6	増 ビデオカメラ、ビデオテープレコーダなど 減 拡声装置	
	対前年(期)増減率%	3.6	11.7	11.6	8.5	27.8	62.9		

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 輸送機械工業 > - 生産は2年連続の上昇、出荷は4年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、112.3で前年比2.5%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、普通トラックや小型乗用車などが増加し、普通乗用車などが減少しました。
 また、全国の輸送機械工業の生産指数(同)は、107.0で前年比0.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、120.1で前年比1.2%上昇し、4年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、小型乗用車や普通トラックなどが増加し、普通乗用車などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、82.1で前年末比10.5%上昇し、8年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期末比で上昇しました。
 品目別にみると、普通トラックやけん引車などが増加し、小型乗用車などが減少しました。

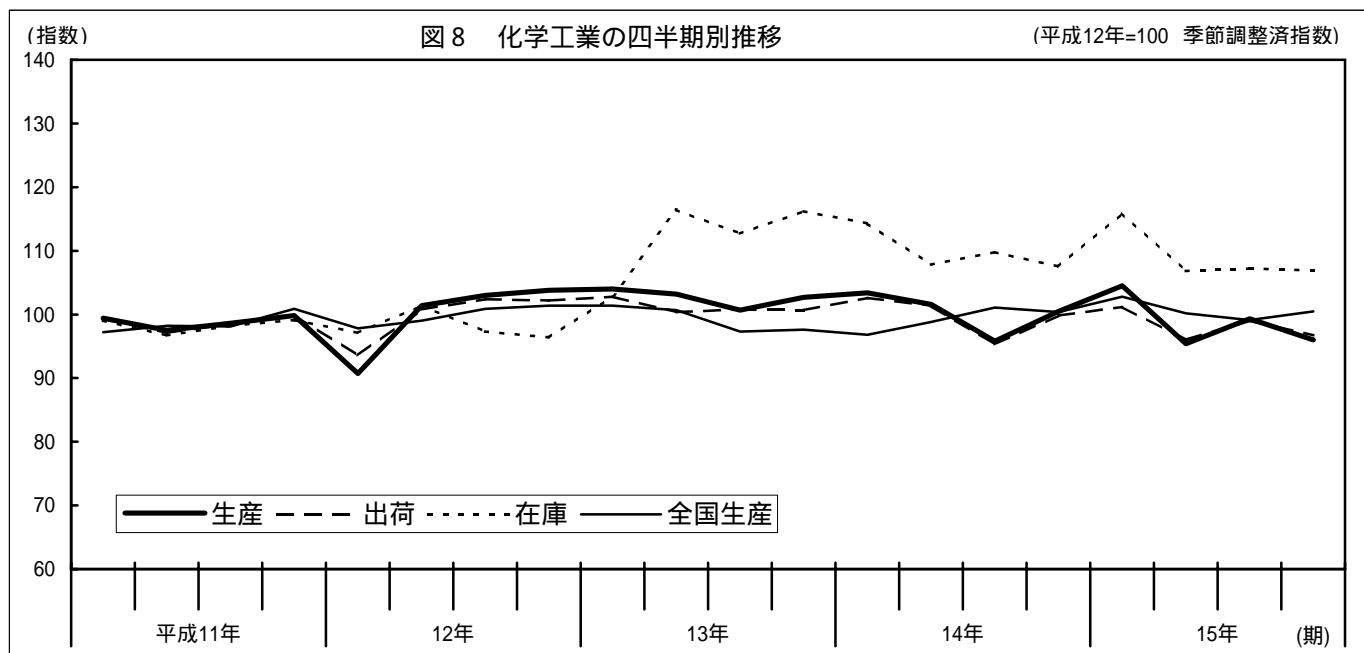
表9 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		14年		15年				上昇又は低下に寄与した品目					
		指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%				
生産	指数	109.6	11.2	112.3	2.5	114.6	1.6	110.3	3.8	113.5	2.9	110.9	2.3
	対前年(期)増減率%												
出荷	指数	118.7	14.9	120.1	1.2	124.7	4.1	117.4	5.9	121.7	3.7	116.4	4.4
	対前年(期)増減率%												
在庫	指数	74.3	15.1	82.1	10.5	63.9	1.4	79.5	24.4	71.4	10.2	73.4	2.8
	対前年(期)増減率%												

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 化学工業 > - 生産、出荷とも2年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、98.7で前年比1.7%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比4.0%上昇、2期は同8.7%低下、3期は同4.1%上昇、4期は同3.3%低下しました。
 品目別にみると、合成洗剤や化粧品などが減少し、合成ゴムなどが増加しました。
 また、全国の化学工業の生産指数(同)は、100.6で前年比1.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、98.1で前年比1.7%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比1.4%上昇、2期は同5.1%低下、3期は同3.1%上昇、4期は同2.3%低下しました。
 品目別にみると、合成洗剤や化粧品などが減少し、合成ゴムなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、100.9で前年末比0.8%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期末比7.8%上昇、2期は同7.9%低下、3期は同0.4%上昇、4期は同0.3%低下しました。
 品目別にみると、白黒フィルムやポリエチレンなどが減少し、カラー映画用フィルムなどが増加しました。

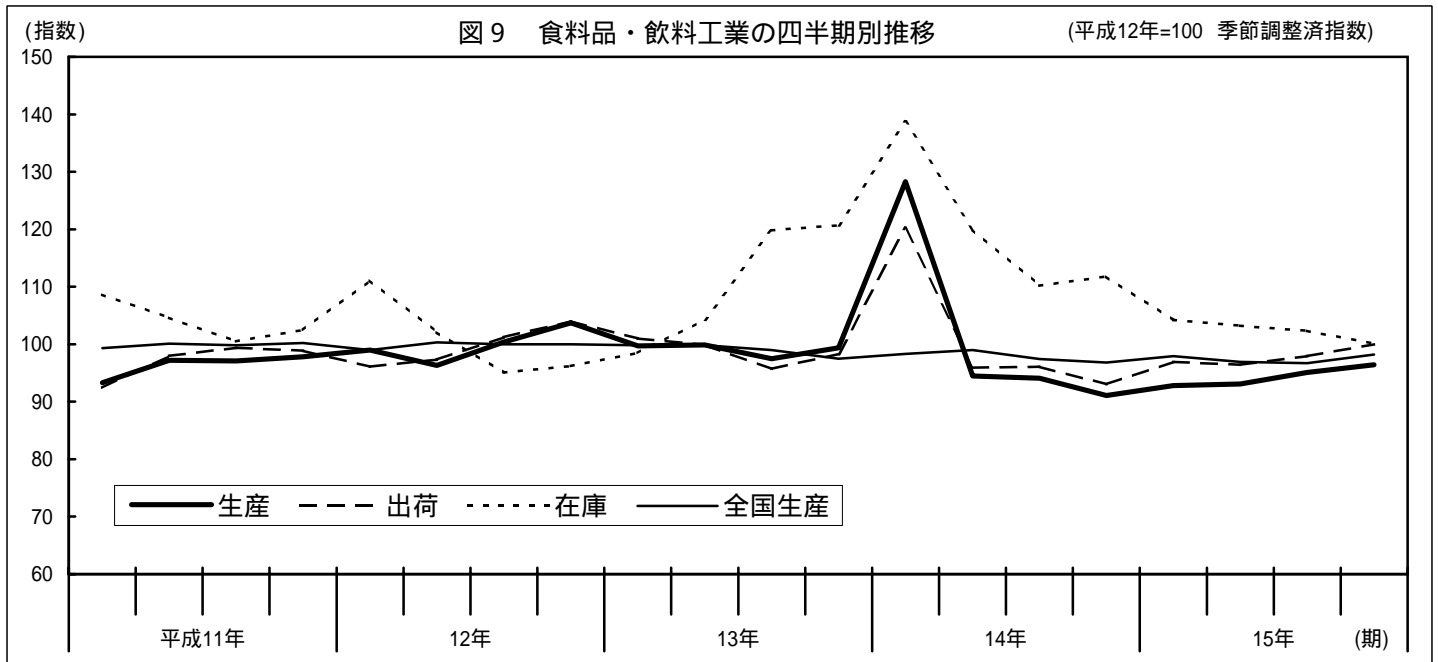
表10 化学工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		14年		15年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%	指数	対前年(期)増減率%		
生産	指数	100.4	98.7	104.5	95.4	99.3	96.0	増	合成ゴム、酸化エチレン、エチレングリコールなど
	対前年(期)増減率%	2.2	1.7	4.0	8.7	4.1	3.3	減	合成洗剤、化粧品、カラーロールフィルムなど
出荷	指数	99.8	98.1	101.2	96.0	99.0	96.7	増	合成ゴム、ポリプロピレン、エチレングリコールなど
	対前年(期)増減率%	1.4	1.7	1.4	5.1	3.1	2.3	減	合成洗剤、化粧品、カラーロールフィルムなど
在庫	指数	101.7	100.9	115.9	106.8	107.2	106.9	増	カラー映画用フィルム、キシレン、合成洗剤など
	対前年(期)増減率%	7.6	0.8	7.8	7.9	0.4	0.3	減	白黒フィルム、ポリエチレン、白黒印画紙など

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 食料品・飲料工業 > - 生産、出荷とも2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、94.2で前年比7.7%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、ウイスキーや蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)などが減少し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加しました。
 また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(同)は、97.3で前年比0.5%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、97.6で前年比3.7%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、ウイスキーや蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)などが減少し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、86.0で前年末比13.5%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期末比で低下しました。
 品目別にみると、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)や混合植物油脂などが減少し、小麦粉などが増加しました。

表 1 1 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

	指数	14年						15年					
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	対前年(期)増減率%	3.1	7.7	1.9	0.3	2.1	1.4	3.1	7.7	1.9	0.3	2.1	1.4
	対前年(期)増減率%	2.8	3.7	4.2	0.5	1.6	2.1	2.8	3.7	4.2	0.5	1.6	2.1
出荷	対前年(期)増減率%	2.8	3.7	4.2	0.5	1.6	2.1	2.8	3.7	4.2	0.5	1.6	2.1
	対前年(期)増減率%	7.4	13.5	6.8	1.0	0.9	2.2	7.4	13.5	6.8	1.0	0.9	2.2

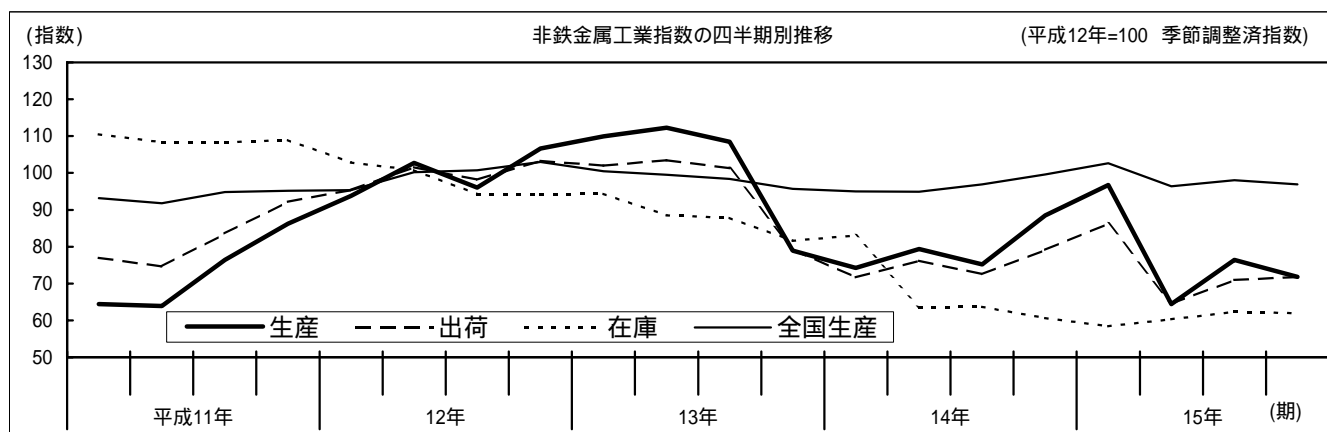
上昇又は低下に寄与した品目	
生産 増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、炭酸飲料、牛乳など
生産 減	ウイスキー、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、チョコレートなど
出荷 増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、小麦粉、炭酸飲料など
出荷 減	ウイスキー、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、グルタミン酸ソーダなど
在庫 増	小麦粉、果実酒、精製糖など
在庫 減	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、混合植物油脂、あめ菓子など

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数
 * 品目順は寄与度順に列記

2 業種別の動向

(2) その他の業種の動向

<非鉄金属工業> - 生産は2年連続の低下、出荷は3年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、77.1で前年比2.9%低下し、2年連続して低下しました。品目別にみると、光ファイバや通信用電線・ケーブルなどが減少し、軽合金鋳物などが増加しました。また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、98.4で前年比1.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

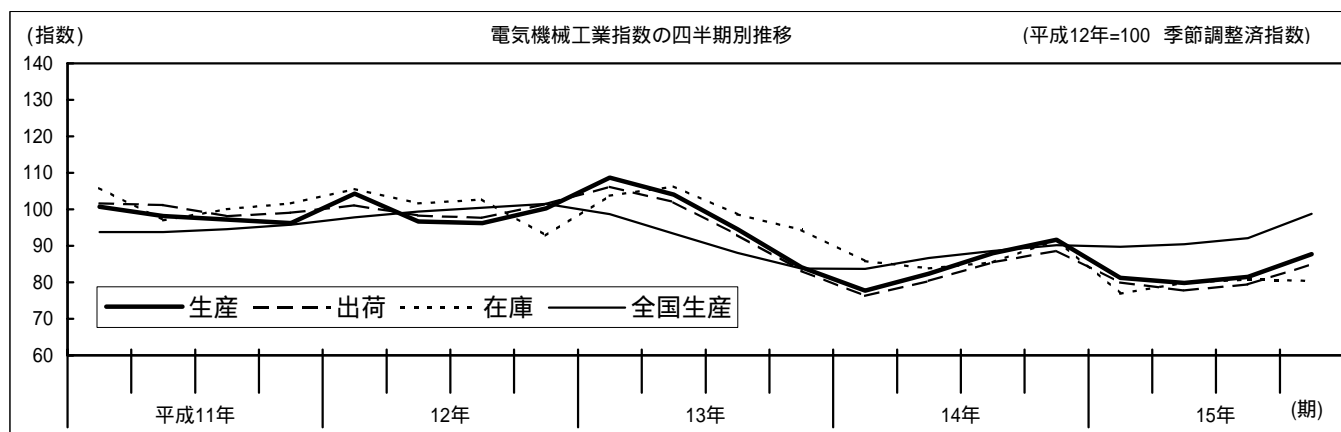
<出荷>

出荷指数(原指数)は、73.1で前年比2.5%低下し、3年連続して低下しました。品目別にみると、光ファイバや電力用電線・ケーブルなどが減少し、軽合金鋳物などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、62.7で前年末比1.3%上昇し、6年ぶりに上昇しました。品目別にみると、通信用電線・ケーブルや銅電線などが増加し、伸銅製品などが減少しました。

<電気機械工業> - 生産、出荷とも3年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、82.6で前年比2.5%低下し、3年連続して低下しました。品目別にみると、シールドビーム形電球や電気冷蔵庫などが減少し、自動車用白熱灯器具などが増加しました。また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、92.5で前年比6.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

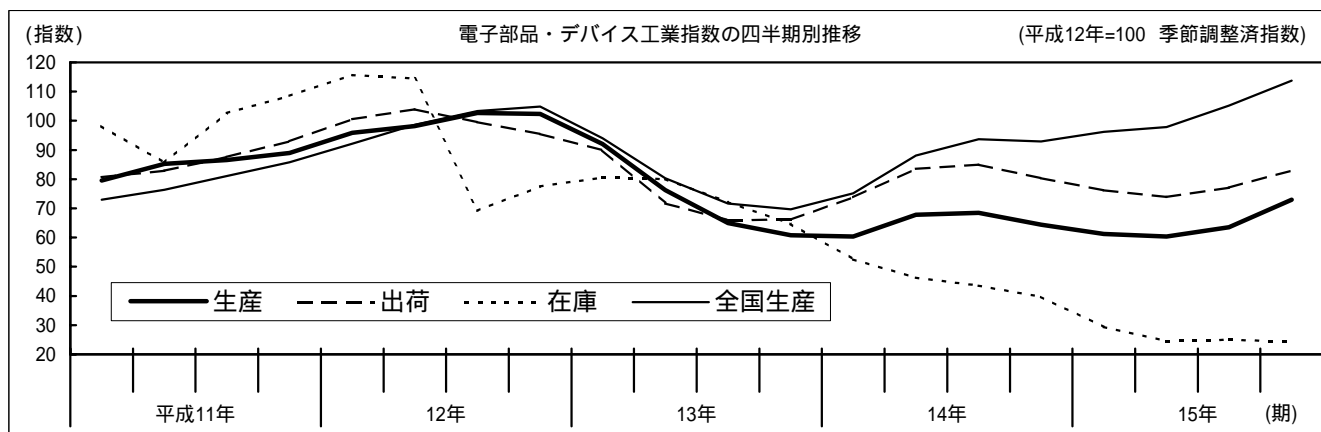
<出荷>

出荷指数(原指数)は、80.5で前年比2.3%低下し、3年連続して低下しました。品目別にみると、シールドビーム形電球や電気冷蔵庫などが減少し、自動車用白熱灯器具などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、77.6で前年末比10.7%低下し、2年連続して低下しました。品目別にみると、電気冷蔵庫や蛍光灯器具などが減少し、鉛蓄電池などが増加しました。

< 電子部品・デバイス工業 > - 生産は3年連続の低下、出荷は2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、64.5で前年比1.2%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)や線形半導体集積回路などが減少し、トランジスタなどが増加しました。
また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、103.2で前年比17.8%上昇し、2年連続して上昇しました。

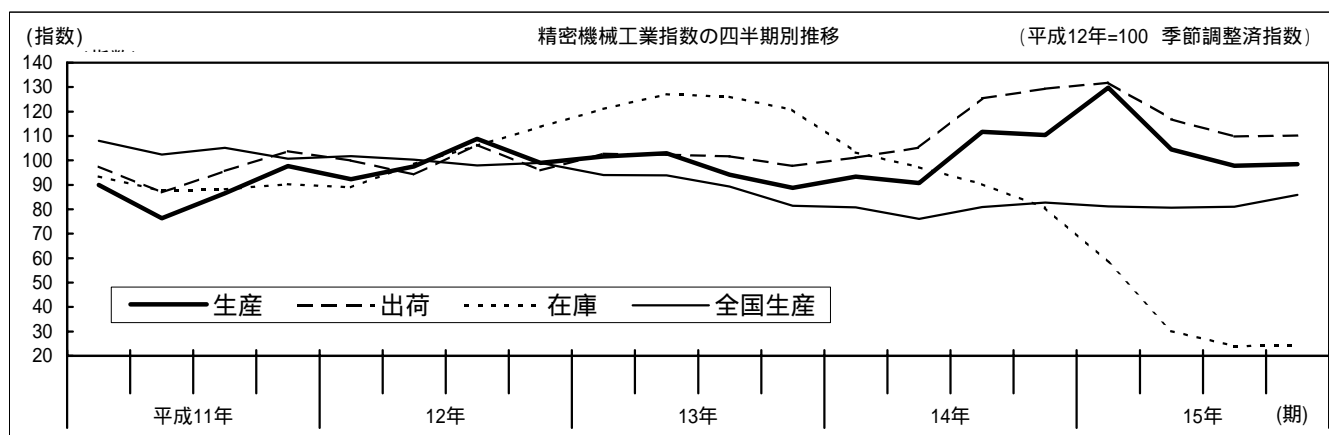
<出荷>

出荷指数(原指数)は、77.5で前年比4.0%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、モス型半導体集積回路(記憶素子)やモス型半導体集積回路(論理素子)などが減少し、トランジスタなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、23.5で前年末比36.0%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)やモス型半導体集積回路(記憶素子)などが減少し、トランジスタなどが増加しました。

< 精密機械工業 > - 生産は2年連続の上昇、出荷は4年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、107.1で前年比5.3%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、試験機や精密測定機などが増加し、工業用計重機が減少しました。
また、全国の精密機械工業の生産指数(同)は、82.1で前年比2.5%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

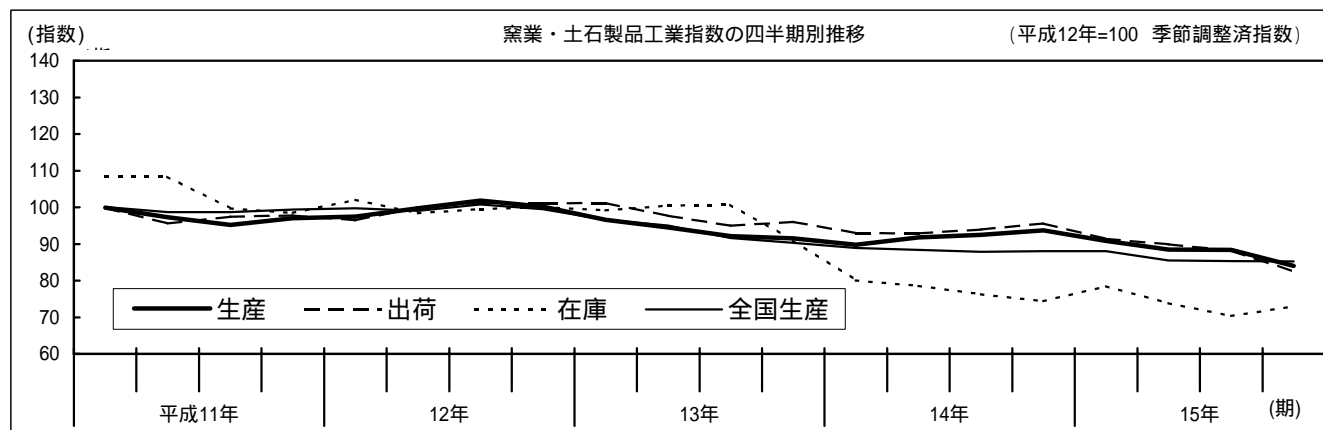
<出荷>

出荷指数(原指数)は、116.5で前年比1.1%上昇し、4年連続して上昇しました。
品目別にみると、精密測定機や試験機などが増加し、工業用計重機などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、26.3で前年末比68.4%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、工業用計重機や分析機器などが減少し、工業用長さ計が増加しました。

< 窯業・土石製品工業 > - 生産、出荷とも3年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、87.8で前年比4.5%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、生コンクリートやガラス製容器類などが減少し、ガラス短繊維製品などが増加しました。
また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、85.9で前年比2.6%低下し、3年連続して低下しました。

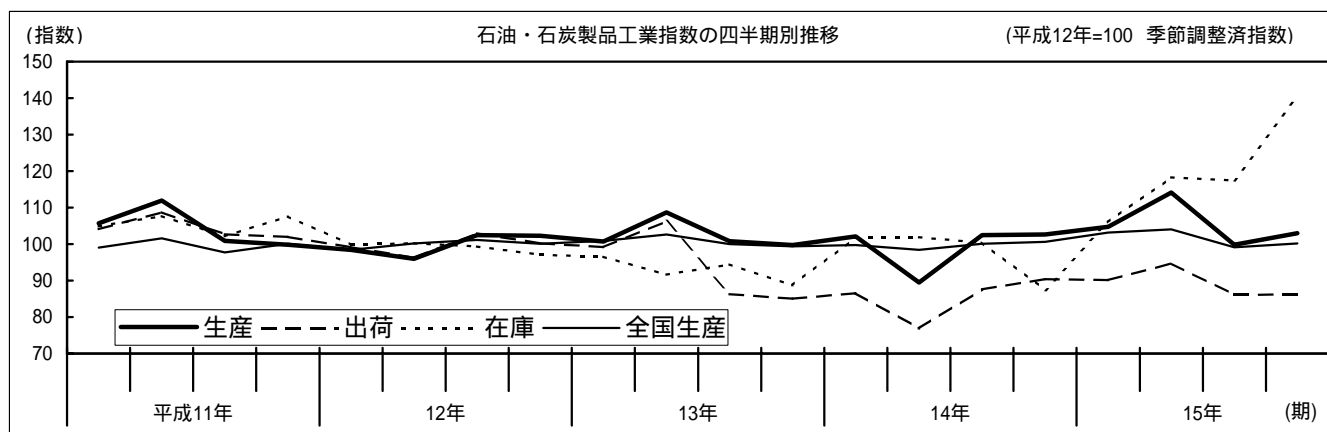
<出荷>

出荷指数(原指数)は、87.9で前年比6.4%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、生コンクリートやガラス製容器類などが減少し、ガラス短繊維製品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、72.6で前年未比3.3%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、ガラス製容器類や板ガラスなどが減少し、石綿スレートなどが増加しました。

< 石油・石炭製品工業 > - 生産は2年ぶりの上昇、出荷は4年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、105.2で前年比5.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ガソリンや灯油などが増加し、ジェット燃料油などが減少しました。
また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、101.5で前年比1.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

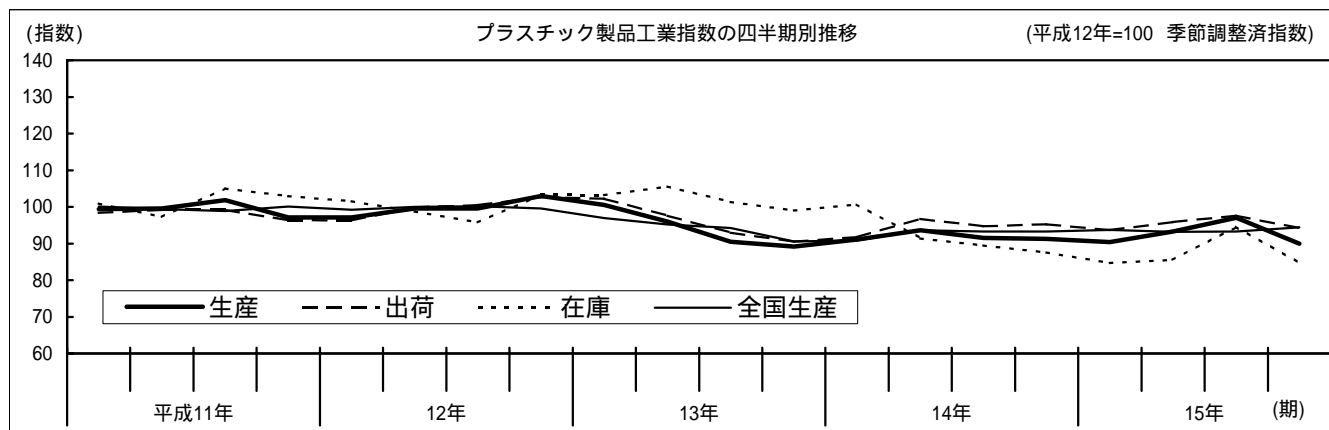
<出荷>

出荷指数(原指数)は、89.2で前年比4.3%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ガソリンやC重油などが増加し、軽油などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、127.6で前年未比51.0%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ガソリンやC重油などが増加し、コークスなどが減少しました。

<プラスチック製品工業> - 生産、出荷とも3年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、92.6で前年比0.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、プラスチック製板やプラスチック製機械器具部品などが増加し、発泡プラスチック製品などが減少しました。

また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、93.6で前年比0.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、95.3で前年比0.6%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

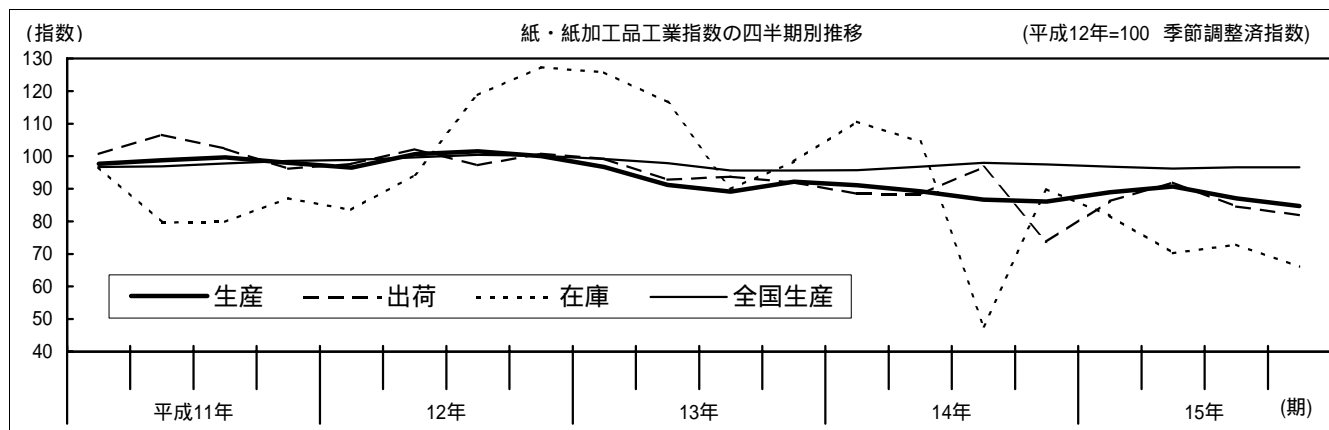
品目別にみると、プラスチック製板やプラスチック製機械器具部品などが増加し、発泡プラスチック製品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、84.8で前年末比3.4%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、プラスチック製フィルム・シートやプラスチック製パイプなどが減少し、プラスチック製機械器具部品などが増加しました。

<紙・紙加工品工業> - 生産は3年連続の低下、出荷は4年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、87.7で前年比0.6%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、衛生用紙が減少し、段ボールシートが横ばいとなりました。

また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、96.5で前年比0.5%低下し、14年の横ばいを挟んで2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、85.8で前年比0.5%低下し、4年連続して低下しました。

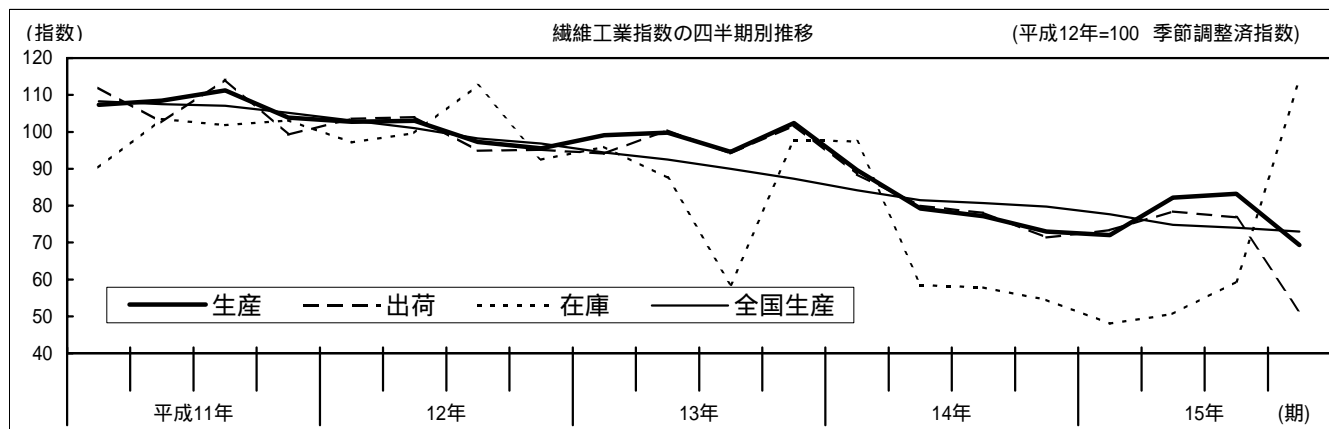
品目別にみると、段ボールシートが減少し、衛生用紙が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、53.4で前年末比29.8%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。

< 繊維工業 > - 生産は4年連続の低下、出荷は7年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、76.6で前年比3.9%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、ふとんや補整着などが減少し、合成繊維が増加しました。
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、74.8で前年比8.2%低下し、元年以降15年連続して低下しました。

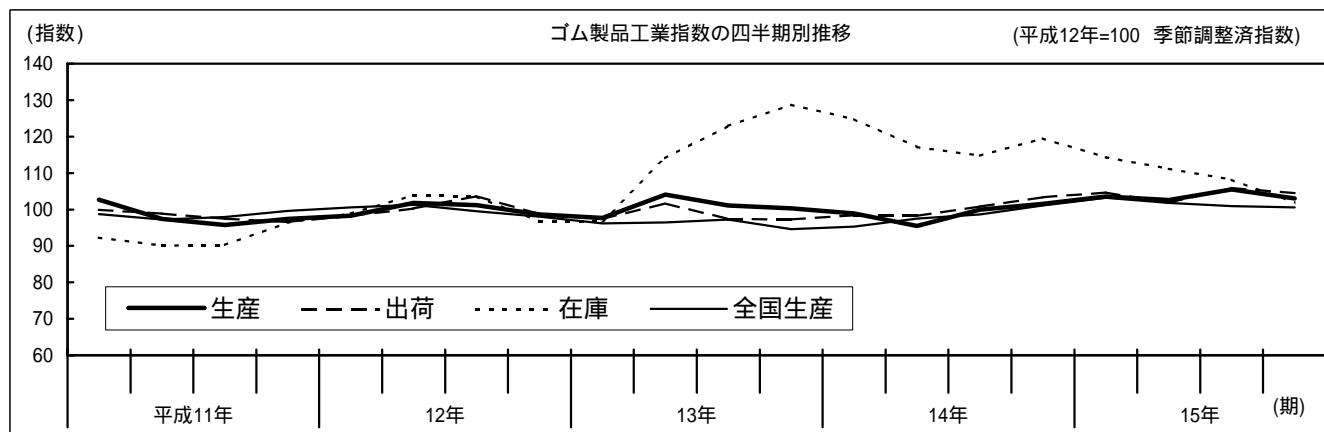
<出荷>

出荷指数(原指数)は、70.0で前年比12.1%低下し、7年連続して低下しました。
品目別にみると、ニット・織物製外衣や補整着などが減少し、合成繊維が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、122.8で前年末比111.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ニット・織物製外衣や合成繊維が増加し、ふとんが減少しました。

< ゴム製品工業 > - 生産は2年ぶりの上昇、出荷は2年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、103.7で前年比5.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ゴムベルトやゴムホースなどが増加しました。
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、101.5で前年比3.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

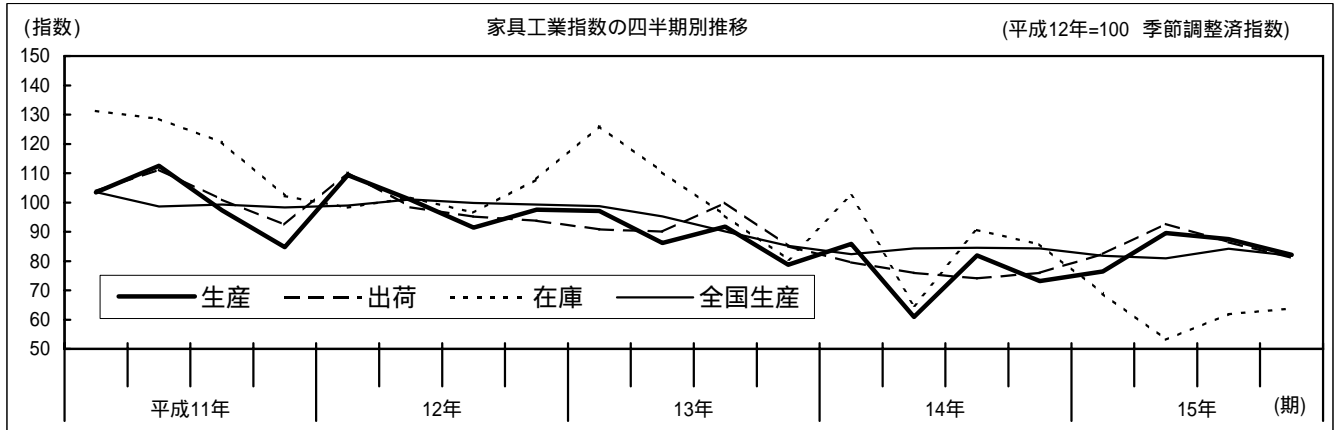
<出荷>

出荷指数(原指数)は、104.3で前年比4.2%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品やゴムホースなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、97.9で前年末比14.7%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品や医療・衛生用ゴム製品などが減少し、ゴムベルトが増加しました。

< 家具工業 > - 生産は3年ぶりの上昇、出荷は7年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、83.2で前年比9.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、金属製いすや金属製間仕切りなどが増加し、流し・ガス・調理台などが減少しました。
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、82.0で前年比2.1%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、85.7で前年比12.2%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、金属製いすやその他の金属製家具などが増加し、流し・ガス・調理台などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、63.4で前年未比22.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、その他の金属製家具や流し・ガス・調理台などが減少し、金属製間仕切りが増加しました。

3 財別の出荷動向

- 最終需要財は3年連続して低下、生産財は2年連続して上昇 -

平成15年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、90.8で前年比2.5%低下し、3年連続して低下しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、96.3で前年比4.7%上昇し、2年連続して上昇しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財は 1期は前期比0.8%低下、2期も同6.4%低下、3期は同2.7%上昇、4期も同0.3%上昇しました。生産財は 1期は前期比2.1%上昇、2期は同0.4%低下、3期は同0.0%と横ばい、4期は同1.6%上昇しました。

(1) 最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、83.9で前年比0.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、はん用コンピュータや普通トラックなどが増加し、デジタル伝送装置などが減少しました。

建設財出荷指数（原指数）は、74.3で前年比6.5%低下し、6年連続して低下しました。

品目別にみると、生コンクリートや橋りょうなどが減少し、プラスチック製板などが増加しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

耐久消費財出荷指数（原指数）は、104.9で前年比6.3%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、普通乗用車や電気冷蔵庫などが減少し、小型乗用車などが増加しました。

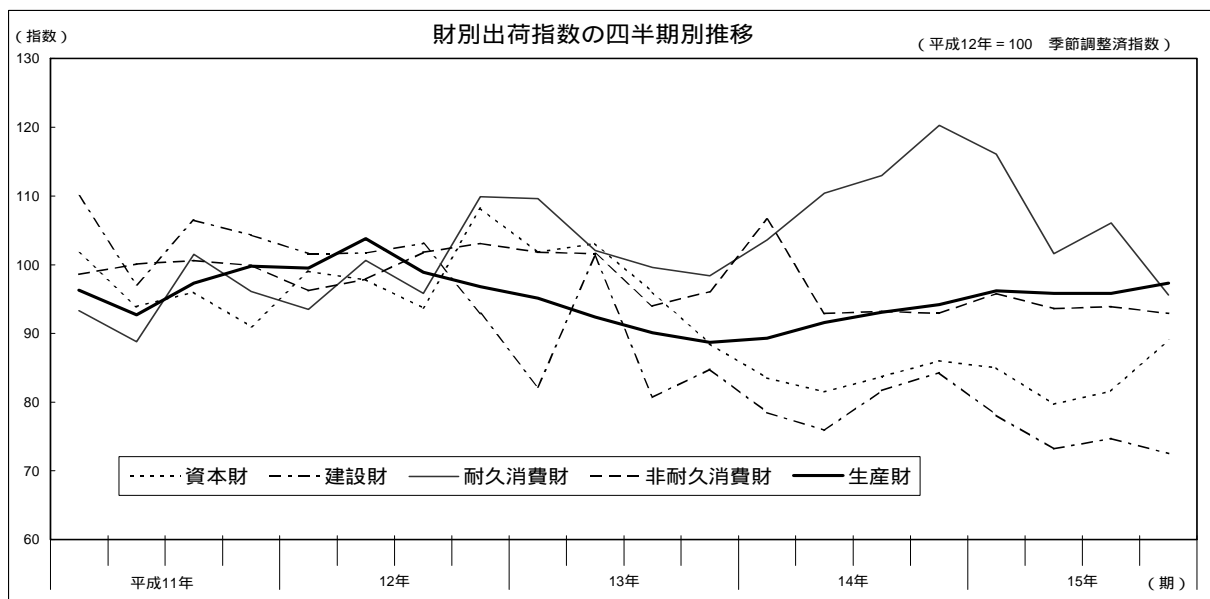
非耐久消費財出荷指数（原指数）は、93.9で前年比2.5%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、ウイスキーや蒸留酒・混成酒（ウイスキー除く）などが減少し、清涼飲料（炭酸飲料除く）などが増加しました。

(2) 生産財

品目別にみると、乗用車ボデーや特装ボデーなどが増加し、モス型半導体集積回路（記憶素子）などが減少しました。

（P21表12、表13参照）



（特殊分類についてはP85、P87表14参照）

表 1 2 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成12年 = 100)

財	年・期	12年	13年	14年	15年	15年				
						14年	15年	15年	15年	
製造工業	指数	100.0	95.9	92.7	92.6	94.8	94.9	90.4	92.1	92.9
	対前年(期)増減率%	3.1	4.1	3.3	0.1	2.3	0.1	4.7	1.9	0.9
最終需要財	指数	100.0	98.1	93.1	90.8	94.9	94.1	88.1	90.5	90.8
	対前年(期)増減率%	2.8	1.9	5.1	2.5	2.7	0.8	6.4	2.7	0.3
投資財	指数	100.0	96.2	83.1	82.9	85.8	84.0	79.1	81.2	87.1
	対前年(期)増減率%	3.4	3.8	13.6	0.2	2.5	2.1	5.8	2.7	7.3
資本財	指数	100.0	97.3	83.6	83.9	86.0	85.0	79.7	81.6	89.1
	対前年(期)増減率%	4.3	2.7	14.1	0.4	2.7	1.2	6.2	2.4	9.2
建設財	指数	100.0	86.6	79.5	74.3	84.3	78.1	73.2	74.7	72.5
	対前年(期)増減率%	4.0	13.4	8.2	6.5	3.2	7.4	6.3	2.0	2.9
消費財	指数	100.0	99.8	102.3	98.1	102.2	104.3	96.9	98.5	93.5
	対前年(期)増減率%	2.1	0.2	2.5	4.1	1.3	2.1	7.1	1.7	5.1
耐久消費財	指数	100.0	102.4	111.9	104.9	120.3	116.1	101.6	106.1	95.6
	対前年(期)増減率%	5.5	2.4	9.3	6.3	6.5	3.5	12.5	4.4	9.9
非耐久消費財	指数	100.0	98.3	96.3	93.9	92.9	95.8	93.6	93.9	92.9
	対前年(期)増減率%	0.2	1.7	2.0	2.5	0.3	3.1	2.3	0.3	1.1
生産財	指数	100.0	91.5	92.0	96.3	94.2	96.2	95.8	95.8	97.3
	対前年(期)増減率%	3.8	8.5	0.5	4.7	1.2	2.1	0.4	0.0	1.6

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 1 3 財別出荷指数の上昇・低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上昇	生産財	4.7	1.58	増	乗用車ボデー、特装ボデー、はん用内燃機関など
				減	モス型半導体集積回路(記憶素子)、シールドビーム形電球など
	資本財	0.4	0.09	増	はん用コンピュータ、普通トラック、無線応用装置など
				減	デジタル伝送装置、固定通信装置など
低下	耐久消費財	6.3	0.99	増	小型乗用車、ガス機器など
				減	普通乗用車、電気冷蔵庫、ビデオテープレコーダなど
	非耐久消費財	2.5	0.55	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、ガソリンなど
				減	ウイスキー、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、合成洗剤など
下	建設財	6.5	0.19	増	プラスチック製板、アスファルトなど
				減	生コンクリート、橋りょう、プラスチック製パイプなど